



令和5年11月28日
令和5年度学校だより NO.32①
加古川市立平荘小学校

第23回平荘小学校狂言発表会を行いました《NO.1》

11月23日（木・祝）に、平之荘神社で、第23回平荘小学校狂言発表会を行いました。当日は、大変よいお天気で、観客は約500人でした。2001年度に平荘小学校の6年生が狂言学習を開始してから23年間、途切れることなく今年度まで狂言学習を続けてきました。途中、新型コロナウイルスの感染防止対策として、子どもたちはマスクを着用して演じたり、無観客で演じたりと、いろいろな苦難を乗り越えて、この度、コロナ前と同様の発表会を開催することができました。



また、平荘狂言教室後援会の皆様には、ひとかたならぬご支援をいただき、大変感謝申し上げます。

狂言発表会当日の朝の様子です

子どもたちは、平之荘神社に到着すると同じ出番の友だちと自主稽古を始めました。その後、山口先生に最終の通し稽古を観ていただきました。





《山口先生から、通し稽古の後のお話を伺いました》

- それなりに緊張することはいいことです。緊張するのは当たり前です。今まで緊張した中で何かをするという経験がどれだけあったのでしょうか。大勢の人の前で**緊張をちゃんと受け止めて、その中でプラス1割頑張ら**みましょう。
- 今日のめあては、「**私の声を観に来てくださっている方々に届けようと思うこと**」「**今まで稽古してきたことを、どうか観てください**」**と思って演技すること**です。
- そして、舞台では、視線は真っすぐ前を見ながら、真っすぐに堂々と歩きましょう。声を届けようと思って出すことです。絶対に背中を曲げてはいけません。
- 最後のあいさつ（演じた後のあいさつ）は、まず、あいさつをする位置に行って、一旦胸を張って止まる。本殿を見てお辞儀をする。そして、戻っていきます。
- 一つ一つのことを確実にしましょう。そして、自分の体で観客の視線を受け止めましょう。この経験は、今後のあなたたちの生活において、血となり肉となります。これを経験してほしいと思います。

歩き方を教えていただきました



《山口先生より》

- 『附子』の太郎冠者と次郎冠者の位置取りに気を付けましょう。『離見の見』です。自分が舞台上どの位置にいるのかを考えて演じましょう。
- 演じる時は、声というよりは、自分の発した思いを大切にしましょう。1割でも2割でも、思いを高くもちましょう。

みなさんにアドバイスできるのは、これで最後です。思う存分やってください。「どう思われるのか」を微塵も考えない！自分はどんな表現をするかを100%考えて、演じましょう。

- 『附子』の最初の3人は、後々引っ張るのだという意識をもって演じましょう。最初に狂言をするということは、必ず後々（の演技）に影響をします。
- 6年生のみなさんは、それぞれに課題をもって本番で試してみましょう。

通し稽古の後は、地域の皆様と一緒に会場づくりをしました

